

東邦ホールディングスで企画・編集した在宅医療関連の書籍が発売されました

この本さえあれば在宅医療も怖くはない！本書を片手に在宅に飛び出そう！

国際医療福祉大学大学院 教授 武藤正樹 先生

在宅医療ではこう使う！

ドクターゴンの

知っておきたい

在宅医療の機器・材料



著者：泰川恵吾（通称：ゴン）

（医療法人鳥伝白川会理事長 元東京女子医大救命救急センター集中治療室チーフ）

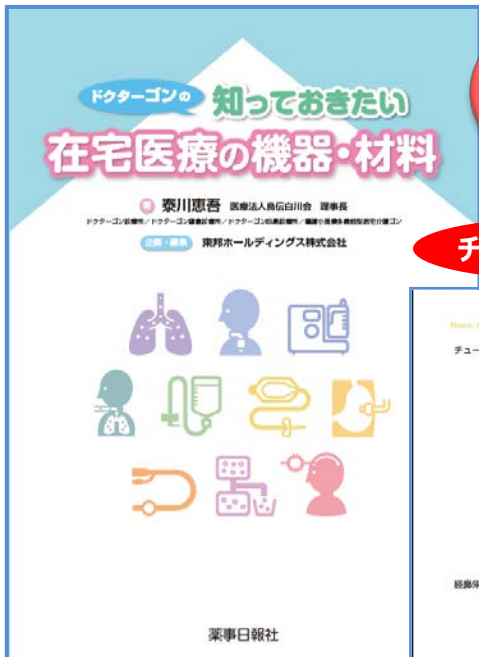
企画・編集：東邦ホールディングス株式会社

発行：株式会社薬事日報社

B5判 71頁

定価1,800円（本体）+税

書店やamazon、楽天ブックス等でお求めいただけます。



持ちやすい
B5判！

チラッと見てみよう

CONTENTS

- Theme 1 HOT（在宅酸素療法）
- Theme 2 気管切開カニューレ
- Theme 3 吸引装置
- Theme 4 HMV（在宅人工呼吸法）
- Theme 5 TPN（完全静脈栄養法）
- Theme 6 バルーン型持続注入ポンプ
- Theme 7 胃瘻
- Theme 8 尿カテーテル
- Theme 9 CART（腹水濾過濃縮再静注法）
- Theme 10 意思伝達装置

<本書のポイント>



わかりやすい写真解説

処置手順の説明

胃瘻のカテーテル管理における留意点

- ・栄養剤の注入後は換気筒を脱し、胃のた血液でロックする
- ・パンパーは軽く余裕（あそび）を持たせ、常に押し込んでおく
- ・瘻孔は清潔しない（人さしの指に通す）
- ・バルーン型は、ときどき高気圧の薬をチェックする
- ・栄養剤や薬剤によって、内腔が狭くなりやすいので、専用のブラシ（胃内ブラシ）を用いて洗浄する
- ・取付た場合は、すぐにドクターコールする
- ・下痢をする場合、薬剤調整が適切かどうか原因であると考えられる

管理上の留意点解説

【企画・編集担当 東邦ホールディングス(株)地域医療連携室より】

元東京女子医科大学救命救急センター集中治療室チーフ、現在在宅医療でご活躍中の「ドクターゴン」こと泰川恵吾先生と、在宅医療で用いる機器や医療材料のうち、重要性が高く、生命や生活の維持に影響を及ぼすものをテーマごとにまとめました。実際の在宅における機器・材料の役割や注意点、処置の実際、適応、仕様等についてわかりやすくお伝えできるように心がけました。在宅医療に関わる医療・介護従事者や学生、患者家族の方にもご活用頂き、安心・安全な療養生活の一助になれば幸いです。